



2020年4月20日

各 位

会社名 株式会社ライフフーズ
代表者 代表取締役社長 大平 毅
(コード番号: 3065)
問合せ先 管理本部・広報室長 森 雅彦
(TEL. 06-6338-8331)

特別損失の計上及び2020年2月期の通期業績予想と実績値 との差異に関するお知らせ

当社は、2020年2月期（2019年3月1日～2020年2月29日）において下記のとおり、特別損失（減損損失）の計上を行うとともに、2019年4月15日の決算発表時に公表いたしました2020年2月期（2019年3月1日～2020年2月29日）の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の発生及びその内容

(1) 減損損失の内容

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社が保有する固定資産のうち15店舗について収益性の低下等による減損の兆候が認められたため、特別損失として減損損失84百万円を計上することにいたしました。

(2) 今後の見通し

上記減損損失の業績に与える影響につきましては、本日発表いたしました「2020年2月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」に反映しております。

2 2020年2月期通期業績予想と実績値との差異（2019年3月1日～2020年2月29日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	13,493	182	226	53	17 62
実績値 (B)	13,227	89	139	7	2 56
増減額 (B-A)	△266	△93	△87	△46	—
増減率 (%)	△2.0	△51.1	△38.4	△85.5	—
(ご参考)前期実績 (2019年2月期)	13,176	163	220	71	23 36

3 差異の発生理由

2020年2月期の業績は、2019年10月から消費税が引き上げられたことや、新型コロナウイルスの影響等により売上高が減少し、店舗改装による修繕費及び慢性的な人材不足による採用費、人件費の高騰により、売上高13,227百万円、営業利益89百万円、経常利益139百万円となりました。また、減損損失84百万円等の特別損失を101百万円計上したことから当期純利益は7百万円となり予想数値を下回る結果となりました。

以 上